

ハイリスク患者の胸骨閉鎖における sternal lock の有効性

1. 研究の対象

2020年1月から2023年12月までの間に高知大学心臓血管外科で開心術を受けた患者様のうち、sternal lock という胸骨固定器具を使用して胸骨閉鎖を行った方

2. 研究目的・方法

研究目的：胸骨閉鎖に対する sternal lock の有効性を検討します。

研究方法：患者背景や心臨床検査項目（血液、生化学、CT、生理学的検査など）を検討します。

研究期間は倫理委員会承認後～2024年12月31日となります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬、入院日、手術日、一般病棟転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰など）および臨床検査項目（血液、生化学、CT、生理学的検査など）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：高知大学医学部附属病院 心臓血管外科

氏名：中村裕昌

住所：高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

番号：088-866-5811

研究責任者：中村裕昌